

報道関係者各位

2017年5月24日

熱中症予防声かけプロジェクト事務局



熱中症患者急増中！熱中症から日本を救う！ ～新資格「熱中症対策アドバイザー」養成講座 5月24日開講～

熱中症予防声かけプロジェクト事務局(所在地:東京都渋谷区、事務局長/社会起業家:山下太郎)は、今夏より「熱中症対策アドバイザー」養成講座を開講いたします。

(<http://hitosuzumi.jp/adviser>)

< 講座開講に至る背景 >

熱中症は、一人一人が正しい知識を身につけることで予防できる病気ですが、毎年5万人以上もの方が熱中症で救急搬送されています。熱中症の発生を防ぐためには、周りの人同士で声をかけあう、イベントなどでは主催者が対策を行うなど、より多角的なコミュニケーションが必要です。

いま、熱中症対策の正しい知識を身につけた“確かな人材”が求められているのです。

< 講座の目的 >

本講座の目的は、熱中症発生リスクの高いシーンなどで、適切な熱中症対策を行うアドバイザーの育成です。高齢者や子どもなど熱中症弱者を含む、一般の方への適切な呼びかけの方法や、イベントを開催する際に行うべき準備・運営上の工夫などを、実践的に学んでいただきます。

講座受講を通じて、イベント・スポーツ・教育・保育・介護などの現場における、熱中症対策のスキルを身につけることができます。高齢化が進み、さらに2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、外国人観光客が増えている社会において、活躍できる資格です。

< 热中症予防声かけプロジェクト実行委員長より >

この講座を通じ、認定を受けた方々が中心となり、周囲に声かけをすることで、熱中症患者が1人でも減ることを期待しています。2020年夏の東京オリンピック・パラリンピックもあつという間にやってきます。観戦に訪れる外国の方々が熱中症にかかることなく日本を楽しんでもらえるように、ぜひ皆様の力を貸してください！

「熱中症予防声かけプロジェクト」実行委員長
帝京大学医学部救急医学講座教授
帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長
三宅康史 医師



< 資格取得のメリット >

講座で学んだ知識を活かし、夏のイベントなどのシーンで適切な熱中症対策を行うことができます。もちろん合格後も、アドバイザーの皆さんをしっかりとサポートします！

- 講座修了試験に合格すると、「熱中症対策アドバイザー」の呼称を使用することができます。アドバイザーカードと、熱中症対策アドバイザー専用ビブスを進呈します。
- 合格者だけが利用できる「熱中症対策アドバイザー専用サイト」にて、イベントなどで役立つ様々な情報やツールを無料で提供します。
- 热中症対策アドバイザーとして活躍されている方には、メディア取材のオファーをさせていただく可能性がございます。また、アドバイザーとして顕著な活動を行った方は、熱中症予防声かけプロジェクトが年に1回開催する「ひと涼みアワード」で表彰されるチャンスがあります。

< 受講について >

講座は、フードディスカバリー株式会社(東京都渋谷区、代表取締役社長:福井栄治)の協力を得て、プロジェクトと協働で運営いたします。

- 受講料…19,000円(税込)
※WEB通信制／公式テキスト、修了試験、アドバイザーカード、アドバイザー専用ビブス代含む
- アドバイザーの資格は2年に1度更新。最新テキストの提供などを行います。
※更新手数料がかかります。

【本件に関するお問い合わせ先】

熱中症予防声かけプロジェクト事務局 担当:岡田(おかだ)

TEL:03-6450-5502 メール:nta@hitosuzumi.jp

(プロジェクト企画運営会社:株式会社ジャパンデザイン)